

# あの日から10年。 話そう、続けよう。 復興と支援。

2011年3月11日14時46分、東日本大震災が発生。宮城、岩手、福島を中心に大きな被害を受けました。あの日から10年、たくさんの方の支援の甲斐もあって宮城県の復興計画も今年度が最終年度。一方で、先日の大きな余震を受けて、あらためて身の引き締まる思いがした方も多くと思います。オーレでは、この10年間、多くの企業様と個人の皆様からJETOみやぎを通じて、震災で被害を受けた子どもたちの支援の輪を広げてまいりました。10年というこの日に、あらためてご家族と時間を設けてあの日のこと、これまでのこと、万一の時の避難経路など、お話しされてはいかがでしょうか？

## JETOみやぎの支援を受ける子どもたちからのメッセージ

東日本大震災以降、温かく支えて頂きましてありがとうございます。震災前からの夢である看護職を目指し、学習を続けることができています。今年も勉強に励みたいと思っています。長い間、ご支援いただきまして、本当にありがとうございます。

Yさん・大学生・女子

味方がいるということがとても心の支えになっています。本当にありがとうございます。

Iさん・高校生・女子

温かいご支援をいただいているおかげで、今自分がやりたいと思うことや、気持ちを大切に頑張ることができています。本当にありがとうございます。

Yさん・大学生・女子

いつもお世話になっております。また、毎度のあたたかいご支援本当にありがとうございます。今年大学4年に無事に進級し、就職先も決まりました。ここまで心身共に元気に生活ができていたのはJETO様を支えて頂いているからです。来年から社会人になります。感謝と生きている喜びをかみしめて自分の道を進んでいってほしいと思います。

中さん

いつもお世話になりまして有難うございます。新しく学校に通い勉強に励むのがバドミントンと励んでいましたが、新型コロナウイルス感染拡大で休校となりました。勉強とバドミントンが再開されたので休まず通っています。支援金につきましては助費及び再来の大学進学に伴う資金として使わせて頂きます。これからもどうぞよろしく願い申し上げます。まだまだ練習ですが健康に留意して頑張っていきたいと思っています。

稲さん

温かいご支援をいただいているおかげで、今自分がやりたいと思うことや、気持ちを大切に頑張ることができています。本当にありがとうございます。

Yさん・大学生・女子

ただただ感謝しありません。本当にありがとうございます。このお支援を糧に頑張ります。ありがとうございます。

Mさん・大学生・男子  
※支援終了

## JETOみやぎの支援を受ける保護者の方からのメッセージ

### 認定特定非営利活動法人 JETOみやぎ理事長 菅原 裕典さん



皆さまのご支援のおかげで、第9期目となる2020年度の「東日本大震災・津波・震災生活・教育支援金」は、昨年42名の子どものうち一人につき20万円をお渡しすることができました。また新型コロナウイルス感染症の拡大で環境が大きく変化していることから「新型コロナウイルス感染症の拡大で環境が大きく変化していることから「新型コロナウイルス感染症の拡大で環境が大きく変化していることから」前記コロナウイルス学業支援金」として一人につき10万円の追加支援と心のサポートを行っています。今年で10期目を迎えますが、最年少の子どもはまた10歳、彼らが20歳になるその時まで、これまで通りのサポートを続け、温かく見守っていきたいと考えております。皆さまからの一層のご支援を宜しくお願いいたします。

3.11東日本大震災  
JETOみやぎ  
孤児の「生命の物語」支援

子どもたちの未来へ。  
継続的なご支援への  
ご協力をお願いいたします。

銀行振込にてお願い申し上げます。

七十七銀行名掛丁支店  
普通預金 6027695「ダッチャーの奨学金」

### 宮城県知事 村井 嘉浩さん



東日本大震災の発生から間もなく10年になります。被災地において、復興のため日々懸命に二努力されている被災者の方々をはじめ、関係者の皆様には改めて感謝申し上げます。また、国内外の皆様からの心温まるご支援に対し、心より御礼申し上げます。

これまでの間、「創造的な復興」を目指して様々な取組にチャレンジしてまいりましたが、震災復興計画の最終年度には、岩手市の内海側沿岸や南三陸町の震災復興利権公園が全件開通するなど、震災で甚大な被害を受けた地域に復興の象徴となる施設が完成し、復興の取組が実を結んでおります。

4月からスタートする新たな取組推進の指針である「宮城の未来ビジョン」

においては「被災地の復興完了に向けたきめ細やかなサポート」を社の一に掲げ、被災者の心のケアやコミュニティの再生など様々な課題の解決に積極的に関与してまいります。また、新型コロナウイルス感染症対策では県民の命を守ることを最優先に加え、感染拡大防止と経済活動の両立に取り組むとともに、アフターコロナにおける時代の変化を捉え新たな取組を推進してまいります。今後とも被災者一人一人が幸福を実感し、いつまでも安心して暮らせる宮城を目指して取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 多くの企業様より本企画の主旨にご賛同いただき、子供たちの未来のためにご支援を賜りました。

本企画の協賛金の一部をJETOみやぎ「震災孤児の「生命の物語」支援」に寄付いたします。※敬称略50音順

